データシート

MANDIANT
A FireEye® Company

サイバー保険リスク評価サービス

組織のリスクを評価する保険会社向けサービス

メリット

- サイバー・リスクを特定、分類、分析
- 金銭的な損失を誘発する恐れのある要因を特定
- 組織および業界が直面するセキュリティ脅威を特定
- 戦略的な改善策を提案
- 被保険者のリスク・レベル評価に必要な保険会社向けの情報を提供

Mandiantが選ばれる理由

Mandiantは、2004年以来、サイバー・セキュリティとサイバー脅威インテリジェンスの最前線で活動を続けてきました。Mandiantのインシデント対応担当者は、世界各地で発生した数々の複雑なセキュリティ侵害事件を現場で経験しています。このため、新旧の攻撃グループや、絶え間なく変化する攻撃者の戦術、手法、手順を深く理解しています。

サービス概要

サイバー保険リスク評価サービスは、サイバー保険のリスクを診断する保険会社向けのサービスです。高度な攻撃グループに関する知識、セキュリティ侵害への対応実績、そしてセキュリティ・プログラムの成熟度および対応状況の評価に関する広範な専門知識に基づいて、リスク評価を実施します。このサービスは、顧客組織のテクノロジー、プロセス、人材に基づいて組織としてのリスク・レベルを短時間で概算し、保険の引き受けに必要となるサイバー・リスクの特定、分類、分析を速やかに実施できるよう設計されています。一般に、財産保険では、「C.O.P.E.」と呼ばれる保険引き受けフレームワークを構成する4つの要素（Construction＝構造、Occupancy＝資産の使用状況、Protection＝防護対策、Exposure＝外的要因）に基づいてリスクを評価します。Mandiantのサイバー保険リスク評価サービスでは、このフレームワークを拡張して、テクノロジーに起因するリスクを評価します。

方法論

サイバー保険リスク評価サービスは、2週間にわたって実施されます。このサービスの主な特徴は、組織の業種、規模、所在地に基づく一般的なリスク・レベル評価と、C.O.P.E.の各領域におけるサイバー・リスク・スコア評価を組み合わせる点です。一般的なリスク評価を、4つのセキュリティ領域および複数の下位領域に重ね合わせて加重リスク・スコアを割り出し、そのスコアに基づいて、各領域および組織全体のリスク状況を判定します。

FireEye

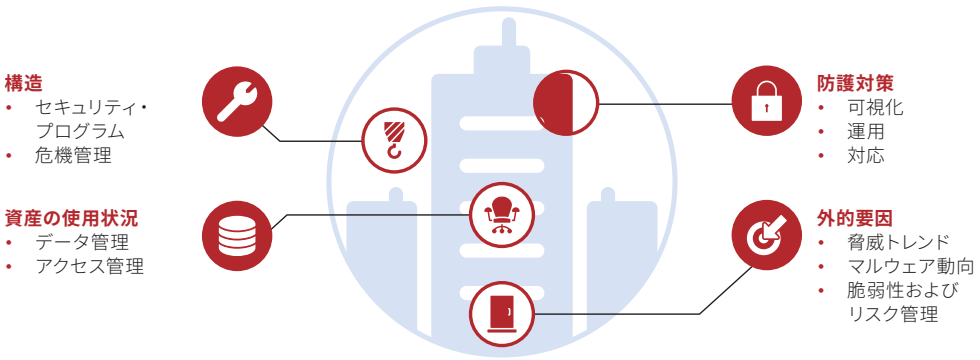

図1: C.O.P.E.に基づくサイバー・リスク保険の領域

成果物

- サイバー保険リスク評価レポート
  - エグゼクティブ・サマリー
  - 現在の能力および領域ごとのリスク・レベル
  - 戦略的な改善策
- エグゼクティブ・プレゼンテーション
- 脅威診断レポート

各領域についての解説

構造

情報セキュリティ・プログラムの構造を評価し、その長所と改善の余地がある領域を特定します。次の領域を審査します。

- 情報技術に関する全般的なポリシーおよび手順
- インシデント対応に関するポリシーおよび手順（侵害発生時の報告や危機管理を含む）
- 人員の配置
- 上級管理職および幹部の意識
- 監査およびコンプライアンスに関する活動

資産の使用状況

次のようなデータおよび資産管理プロセスを審査します。

- データおよび資産の分類ポリシー
- データ管理のための技術的な手段
- 暗号化の実施要件
- データ保持のポリシー
- バックアップおよびリカバリのポリシー
- ノートPCやサーバー、モバイル・デバイスなど、一般的な資産の導入および管理要件

防護対策

高度なサイバー攻撃の検知、解析、対応、封じ込めのためのテクノロジー、プロセス、人材が整備され、組織が保護された状態にあるかどうかを審査します。具体的には、脅威の可視化、セキュリティの運用、インシデント対応などに関する能力を評価します。

外的要因

顧客組織が事業を展開する業界、業種、地域のセキュリティ脅威トレンドを評価して、組織が直面するリスク要因を判断します。次の項目を審査します。

- ビジネス・リスクや情報セキュリティ・リスクを見極めるためのプロセスおよびポリシーの有効性
- 既存の対策の妥当性を評価するシステムおよびネットワークのメンテナンス・ポリシー
- 脆弱性の診断および修正、ロギング要件、ログ管理、エンドポイント/クラウド/モバイル・デバイスの保護およびロギング、内部および外部からのペネトレーション・テスト、発見された脆弱性の修正に関するプロセスおよびポリシー

Mandiantコンサルティング・サービスの詳細については、以下のWebページをご覧ください。
https://www.fireeye.jp/services.html

ファイア・アイ株式会社 | 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-22 テラススクエア8階 | 03−4577−4401 | Japan@fireeye.com | www.fireeye.jp
FireEye, Inc. | 1440 McCarthy Blvd. Milpitas, CA 95035 | +1 408 321 6300 | 877.FIREEYE (347.3393) | info@fireeye.com | www.FireEye.com

FireEyeについて
FireEyeは、インテリジェンス主導型のセキュリティ企業です。顧客企業は、FireEyeの革新的セキュリティ技術、国家レベルの脅威インテリジェンス、世界的に著名なMandiant®コンサルティングの知見が統合された単一プラットフォームを、自社のセキュリティ対策の一部としてシームレスに組み込むことができます。このアプローチにより、FireEyeは準備、防御、インシデント・レスポンスといった、組織がサイバー攻撃対策をするうえでの課題となっていた複雑性や負担を解消します。FireEyeは「Forbes Global 2000」企業の45%以上を含む、世界67か国以上の6,600を超える組織で利用されています。